

令和5年度(2023年度)

自己点検・自己評価

対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

学校法人久木田学園
鹿児島鍼灸専門学校

令和5年度 自己点検・自己評価

1. 教育理念・目標

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
1-1	理念、目的、育成人材像は定められているか。	学校の理念教育目的、アドミッションポリシーが明確に定められている。	学則、学生便覧 学生募集要項	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か。	はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧などの専門分野に関する高い知識や技術の習得、人間性の育成に重点を置いた教育を行うことを特色としている。	学生便覧、学生募集要項 パンフレット、ホームページ	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	少子高齢社会となり、在宅医療に関わる機会が増えている。チーム医療の一員として社会に貢献できるよう、姉妹校の看護学校と多職種連携教育に取り組んでいる。	カリキュラム一覧 シラバス	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒保護者等に周知されているか。	学生便覧やホームページなどに明記しており、常に確認できるようにしてあるとともに、講義や実習の際にも必要に応じて各担当教員が自身の経験などを元に周知するよう努めている。	学生便覧、ホームページ	3
1-5	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	多職種連携教育や外部臨床実習を通して、卒業後の仕事内容を見学・体験し、必要とされる人材像がイメージしやすいよう配慮している。	シラバス 外部臨床実習	4

(1)課題

- ①学習状況の保護者への積極的周知を昨年度の課題としていた。本年度は保護者への周知を実施したが、時期が遅く回数も積極的周知とは言えなかった。
②伝統を重んじる堅実な教育を実施しているが、時代に即した最新の教育を実施しているとは言えない。

(2)改善策等

- ①保護者への周知の重要性を認識し、教職員で共有する。
②企業と連携を取りながら業界のニーズを察知し、カリキュラムに取り入れていく。

令和5年度 自己点検・自己評価

2. 学校運営

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
2-1	理念、教育目標に沿った運営方針が策定されているか。	理念、教育目標はあるものの、それに沿った具体的な運営方針は明文化されていない。	学則(学生便覧)	2
2-2	理念、教育目標、運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	職員会議・教務会議において年間事業計画の検討を行っている。	職員会議議事録 教務会議議事録 年間行事予定表	4
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	学園全体の運営については、寄附行為によって規定されている。運営組織は「運営組織図」で明確にしている。意思決定機能としては、最高議決機関の「理事会・評議員会」、学校運営等に関し協議する「運営委員会」、教育計画及び教育内容等の決定を行う「職員会議」、教育計画や教育内容の企画立案及び実施等を協議する「教務会議」等があり、学則施行細則の中で協議内容や意思決定について明確にしている。また、それぞれの会議がお互いに連携することにより、有効に機能している。	寄附行為 理事会・評議員会 運営委員会 職員会議 教務会議	3
2-4	人事、給与に関する制度は整備されているか。	学園本部において人事・給与の制度を整備している。	就業規則	4
2-5	教務財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	教務については、毎月1回以上開催する運営会議や教務会議や職員会議で、教育内容や教育計画等について協議して意思決定を行っている。財務については、最終決定者は校長であり、意思決定システムも明確である。運営組織に基づいて、稟議書による決済を行って物品の購入、支払等の会計処理を行っている。また決定された事項は各会議等で周知できている。	各会議議事録 稟議書	4
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	学生や保護者をはじめとする関係者や来校者等に対する人権の尊重、セクシャルハラスメントの禁止、パワーハラスメントの禁止、アカデミックハラスメントの禁止、ハラスメントアカウントビリティ(説明責任)等については、これらの遵守について、教職員へ周知を図り、コンプライアンスの確保に努めている。	運営委員会 職員会議 教務会議	3

令和3年度 自己点検・自己評価

2. 学校運営

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
2-7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	入学案内、ホームページ、オープンキャンパスなどを通じ情報公開している。	学生募集要項 ホームページ パンフレット	4
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	業務で使用するパソコンを最新のOSを搭載したものに移行し、セキュリティ対策と業務の効率化を図っている。 また、学内LANやホストPCを設置し、情報管理と共有の効率化も行っている。	各PCの設置 学内LANの構築	4

(1)課題

①コンプライアンスに関する規定を明文化する必要がある。

(2)改善策等

①運営委員会等にて学内のコンプライアンス規定を策定する。

令和5年度 自己点検・自己評価

3. 教育活動

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
3-1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	文部科学省の専修学校設置基準や、厚生労働省の学校施設養成認定規則及び養成施設指導要領に沿った教育理念などに基づいて、学生が能動的に学習できるような教育課程の編成・実施方針を策定している。	学則 カリキュラム一覧 シラバス	4
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対し、学習時間や指導時間(3年間で2931時間)を確保している。	学則 カリキュラム一覧 シラバス	4
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	年度末にカリキュラムに関する検討を行い、認定規則をもとに学生が基礎から応用に段階的かつ体系的に学習できるよう編成している。	カリキュラム一覧 シラバス	4
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか。	卒業後の進路にはいくつか方向性があり、それぞれのタイプに合わせた実践的な職業教育に関しては不十分なところもある。しかし、どの方向に進んでも対応できるようあはき師としての基礎力を身に付けるための教育方法やカリキュラムに関して、定期的に実施される会議の中で協議している。	カリキュラム一覧 シラバス 教務会議議事録	3
3-5	関連分野における実践的な職業教育(医療機関との連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	外部への臨床実習を通し、企業との連携を図り実習を行っているが、カリキュラムに占める比率が低い。	カリキュラム一覧 シラバス	2
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか。	各科目の最終時間に授業評価を行っているが、統計的な処理を行っておらず、評価の内容を十分に活かしていない。	学生授業評価アンケート	3
3-7	学生の研究に対する支援体制はあるか。	学生による研究活動に対する支援体制はあるが、学生自身の時間の確保が難しく、近年は研究を希望する学生がないのが現状である。その他、実験器具等が限られているため、研究内容によっては制限がかかる場合がある。	備品一覧	2

令和3年度 自己点検・自己評価

3. 教育活動

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
3-8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	外部の実技評価委員によるはり・きゅう・あま指実技評価を実施している。	東洋療法学校協会 はりきゅう実技評価・ あま指実技評価	3
3-9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	学則・シラバスに明確に定めている。	学則 学則施行細則 シラバス	4
3-10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	カリキュラムの中に国家試験対策の授業は設けていないが、年4回の模擬試験、補講の実施、定期的な面談の実施など、資格取得のための支援体制を国家試験対策として体系的に位置づけている。	年4回の模擬試験 国家試験対策の補講 成績に関する個人面談	4
3-11	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則及び指導要領の教員資格を満たす教員を確保している。また、附属臨床実習施設においても、講習を終え要件を満たす有資格者を確保し、教育内容の充実化を図っている。	認定規則 養成施設臨床指導者講習要項	4
3-12	関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか。	外部での研修会などに参加して、最先端の知識や技能を修得して教育指導に還元している。また、附属の臨床実習施設において各教員が一般の患者を施術し、臨床力の向上に努めている。	教員研修会への参加 臨床実習施設での施術	4
3-13	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	新型コロナウイルス感染予防の為、研修会等はほとんど実施していない。業務の担当変更や部署異動により、教職員の能力開発、業務の効率化を図っている。	/	3

(1)課題

- ①教育に関する体系的な制度は整備されているが、客観的な評価が実施されていない。
- ②実践的な職業教育について、外部の企業と緊密な連携が取れているとはいえない。
- ③現在の社会ニーズに合わせ、より専門的知識と技術を教員が身につける必要がある。

(2)改善策等

- ①外部評価の制度(学校関係者評価、第三者評価)を整備し、定期的に評価する。
- ②インターン等の制度またはそれに準ずる教育機会を設ける。
- ③専門的知識と技術を教員が身につける機会を増やす。

令和5年度 自己点検・自己評価

4. 学修成果

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
4-1	就職率の向上が図られているか。	全国から毎年150件以上寄せられる求人情報をファイルにし、学生が自由閲覧できるようにしている。また、就職担当の教員が必要なアドバイスをし、学生が希望する職場へ就職できるような体制をとっている。	求人情報の閲覧体制 企業との情報交換	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか。	はり師やきゅう師などの国家試験に合格するための知識の修得度を確認するために、3年次には模擬試験を行うとともに、試験の結果をもとにした個別面談を行っている。 また、模擬試験の成績が不良な学生に対しては、補講を行うとともに日々の勉強方法等の指導を行っている。	年4回の模擬試験の実施 国家試験対策補講・ゼミの実施	4
4-3	退学率の低減が図られているか。	担当制を採用しており、個別面談を適宜行っているが、学生の学習状況、生活状況の把握と対応が十分でない。クラスの雰囲気や学生同士の関係性について、学生と教員で認識に違いが生じている場合がある。	各教員による個別の面談 スクールカウンセラーの設置	2
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	直近の卒業生については一定程度把握している。 追跡調査等は行っていない。	進路希望調査	2
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。	卒後間もない、比較的学生に近い立場の卒業生を招聘し、卒前に身に付けておくべき知識や技術についての講義を実施している。	卒業生による特別授業	3

(1)課題

- ①卒業生の社会的な活躍や評価を把握するための環境を整備する必要がある。
- ②学生の意見やニーズが合理的かつ実現可能であった場合においても、反映されない場合がある。

(2)改善策等

- ①連絡体制の確立や卒業生を対象とした学内勉強会の実施などが求められる。
- ②学生とのコミュニケーションを増やし、意見交換を促す環境を整える。

令和5年度 自己点検・自己評価

5. 学生支援

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	就職担当の教員を配置し、学生の就職に関する支援などを行える体制を整えている。	就職担当教員の配置	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか。	各教員による面談や連絡シートの制度を導入しており相談しやすい環境を整えている。 スクールカウンセラーによる面談体制も整えている。	各担当教員による個人面談 スクールカウンセラーの配置	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	日本学生支援機構による奨学金の説明会を実施し、奨学生を募集している。また、学校提携教育ローンなど様々な学費サポートを用意しているが、日本学生支援機構による給付型奨学金は対象外となっている。	奨学金制度 個別相談による学納金の分納等	3
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	日頃の健康状態はもとより、毎年の胸部検診や健康診断により把握した学生の健康情報を教職員間で共有し、学生の健康管理に留意している。また、数日休みが続いた場合は早急に連絡をとるなど徹底している。	胸部レントゲン撮影 健康診断	3
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	ボランティアや課外活動を行う団体ごとに担当する教員を設置し、活動に対する支援・助言を行う体制を整備している。	担当教員の配置	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか。	学内環境においては、面談による相談体制や生徒が組織として意見等を提出できる制度を整備している。 学外環境においては、地元の不動産会社と提携し、学校周辺の住宅情報等の提供を行っている。	個別の面談体制 生徒会組織における意見等の提出 株式会社川商ハウスとの提携	4
5-7	保護者と適切に連携しているか。	保護者に対し年度末に学生の成績を送付し、学生の学習状況の連絡を行っている。また学力不振の学生について、保護者の協力が必要である場合は保護者に対し報告と協力の要請を行っている。	教務会議議事録 成績一覧の送付 保護者への連絡・協力要請	3
5-8	卒業生への支援体制はあるか。	求人票を卒業生にも自由に閲覧できる体制を整備し、随時対応している。また、卒業後、業務に関する損害賠償保険制度(任意)を学校で申し込めるよう、体制を整えている。	求人票ファイル 鍼灸賠償責任保険制度 (東京海上日動火災株式会社との提携)	4

令和3年度 自己点検・自己評価

5. 学生支援

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	家庭の事情(子育て、介護等)があり欠席をしなければいけない場合などは、教員間で情報を共有、協議し柔軟に対応している。	特別配慮申請書	4
5-10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか。	近隣の高校へ出向き、職業教育に関する取り組みなどについて説明し、卒業後のビジョンやキャリア形成について説明を行っている。またガイダンスなどにも参加し業界の啓発に努めている。	高校への訪問 進学ガイダンスへの参加	3
5-11	国家試験不合格者に対する支援体制はあるか。	希望があれば、聴講生として講義へ参加できるようにしている。また実力試験も同様に受験でき、学習に対する支援をおこなっている。	卒業生の聴講制度	4

(1)課題

- ①修学支援新制度の適用外により、相対的に学生への負担が増加している。
- ②学生の健康管理を担う組織体制の不備や社会人のニーズを直接確認する制度を設けていない。

(2)改善策等

- 修学支援新制度への適用を目指す。
- ②社会人入学生のニーズを確認できるようなアンケートを作成し、定期的実施できるようにする。また、全国的な傾向の把握として、東洋療法学校協会加盟校との情報交換を行う。

令和5年度 自己点検・自己評価

6. 教育環境

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師係る養成施設の施設・設備基準に則り、教育効果が高まるように施設や設備を整備している。	認定規則 専門学校設置基準	4
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	学内の実習は臨床実習に対応できるよう施設面の整備、患者数も十分確保している。関係企業の協力を経て、学外での実習も行っている。海外研修については、上海中医大学や上海鍼灸経絡研究所における解剖室や標本室での見学、鍼灸臨床学術の聴講や病院見学等を行う中国研修を、参加を希望する学生を募集して定期的に行なう体制を整備している。附属の臨床実習施設については、ハード的に利便性に欠く点もあり、改善が今後の課題となると考える。	中国への海外研修制度 附属臨床実習施設	3
6-3	防災に対する体制は整備されているか。	年2回の専門業者による消防設備等の点検を行っているが、全校あげての総合防災訓練が実施できていない。	消防設備点検報告書	2

(1)課題

①現代のニーズにおいて考える様々な現場を経験できるよう外部実習の受け入れ先を増やすことが必要である。

(2)改善策等

外部実習の回数や実施内容を精査し、適切な教育機会であるか検討する。

令和5年度 自己点検・自己評価

7. 学生受入募集

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか。	県内及び県外の高校に募集要項を送付するとともに、鹿児島市の公共掲示板による学校案内の掲示、学校説明会の実施、ホームページによる広報等を通じて募集活動を行っている。一般入試に加えて、AO入試、推薦入試を行い、優秀な学生の確保に努めている。	学生募集要項 ホームページ 鹿児島市公共掲示板の活用	4
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	学校説明会や学校案内の中で、就職状況や国家試験合格の状況を説明している。	学生募集要項 ホームページ	4
7-3	学納金は妥当なものとなっているか。	他校の学納金の金額、学校所在地の地域性や資格の将来性、学校の安定的な運営などを考慮し、妥当な額を設定しているが、日本学生支援機構の給付奨学金の対象外となっている為、他校と比較したときに負担はやや大きくなっている。	学則 他校の資料	2

(1)課題

- ①近年は十分な入学希望者から入学者を選定することができておらず、一般社会への職業理解が不十分であるとともに、入学希望者のニーズを十分に把握できていない。
②資格について、より広く周知できるような手段を検討する必要がある。

(2)改善策等

- ①高校生による職場体験学習の場として附属治療院を提供するなど工夫が必要である。

令和5年度 自己点検・自己評価

8. 財務

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	入学者を確保できており、予算に基づく適切な収支のバランスが保持できている。	事業計画書 予算書 決算書	3
8-2	予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	毎年、収支のバランスのとれた予算を策定し、執行に関しても公認会計士の助言のもと管理徹底を行っている。	事業計画書 予算書 決算書	3
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか。	公認会計事務所による検査、学校法人監事による監査のもと、予算及び計画の方針に基づき作成し、理事会・評議委員会にて確認、承認を行っている。	会計監査報告 決算書	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか。	財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書について、利害関係人から閲覧の請求があった場合は、これを閲覧させる体制にしている。	財務に関する各書類	3

(1)課題

①学納金および、学校運営以外での収入増、支出減の実施計画の策定が必要である。

(2)改善策等

- ①定員を充足率を向上させるため、教育内容の充実化、教育環境の整備等を建設的に検討する。
 ②単純経費の削減だけでなく、必要な支出と無駄な支出の区分けをし、無駄な支出がないよう経理計画の見直しが必要である。

令和5年度 自己点検・自己評価

9. 法令の遵守

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	養成施設認定規則、専門学校設置基準を遵守し、適性に運営を行っている。また、養成施設認定規則による各種届出、学校教育法及び私立学校法等による各種届出等は、届出が必要な時点においてその都度行っている。	学則 学則施行細則	3
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	入学の際に学校が取り扱う個人情報についての口頭で説明を行い、誓約書として本人(未成年は保護者を含む)の署名・捺印をもらうこととしている。個人情報保護法やその他の法令、文部科学大臣の定めた個人情報保護に対するガイドラインを遵守して、個人情報の保護に努めている。 また、各PCごとにセキュリティソフトを導入し、最新の状態に保ち、情報流出等への対応を取っている。	個人情報に関する誓約書 各PCのセキュリティ対策	4
9-3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	運営委員会や職員会議・教務会議にて、都度、問題点を共有し改善に努めているが、まとめて明文化されたものはない。	運営委員会議事録 職員会議議事録 教務会議議事録	2
9-4	自己評価結果を公開しているか。	学校ホームページ内にて公開している。 https://www.kukita-shinkyu.jp/disclosure	ホームページ	4

(1)課題

- ①学内にて個人情報の取扱いについての規定を策定する必要がある。
- ②自己評価の実施と問題点の改善が十分になされているとはいえない。

(2)改善策等

- ①各教職員が評価項目の内容を理解した上で、自己評価から問題点を抽出し、評価内容の精度を高める。

令和5年度 自己点検・自己評価

10. 社会貢献活動

項目番号	評価項目	本校の現状	根拠・実施内容 (規定・資料等)	適切:4、ほぼ適切:3 やや不適切:2、不適切:1
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	学内の施設を利用して市民公開講座を計画、実施している。	年間活動計画 教務会議議事録 鹿鉦祭実行委員会議事録	3
10-2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか。	学業に支障がない範囲でボランティア活動を支援する体制を整備している。	学則施行細則 ボランティア活動報告書	3
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか。	年1回学生による市民公開講座を計画、実施している。また、地域や高校から依頼があった場合、本校教員が出向きはりきゅう、あん摩マッサージ指圧、東洋医学の啓発活動が行える体制を整備している。	鹿鉦祭実行委員会議事録	4

(1)課題

①地域の人々に本校やはりきゅう、あん摩マッサージ指圧、東洋医学について啓発する機会を増やす必要がある。

(2)改善策等

①地域の人々から求められる社会貢献の情報を得る場面を増やす。